



今回は、台風9号の影響で、開催日・会場を変更し行われました。当初予定の大阪北斎場を堺市立斎場に変更し午前中視察、午後新大阪の会場に移り、講義と体験発表をもとに意見交換を行いました。

堺市斎場を訪れたのは、4回目になります。当初から思うと、駅前整備も出来上がり綺麗になっています。周りには堺市のランドマークともいえる高層マンションが2棟建ち、公園の整備も終わっていました。隣に幼稚園、向は大阪刑務所です。それ故悩みも、あるようです。高層マンションからは、柵の出入りや、式場の様子が見え、庇屋根を大きくしたり、目隠しを施したりで苦勞されていました。管理事務は直営で、実質業務は委託だそうです。休場は1月1日のみです。2日も休場だったのですが利用者の増加により、営業日に変わったようです。2日に火葬が入ると元旦に通夜ですので実質、休場とは言えないのかもしれませんが。

式場が大小3室、それぞれ遺族控室と宗教者控室がセットです。貸しスペースで葬儀社がすべての取り仕切りを行います。堺市独自の規格葬儀もプラン化されています。

火葬部門は、民間委託で11名が従事。内、火葬は2名が担当します。年間火葬件数7,801件/平成25年度(21件/日)。火葬炉が17基(内大型炉幅650mmが1基、普通炉幅600mmが16基)+補助炉1基、都市ガス使用です。告別室4室、収骨室4室、午前10時から16時まで、毎時4件づつの受け入れでMax28件/日です。待合ロビーと待合室12室を完備。保冷库3庫。登録すると使用できる予約システムをリースで設置し、予約時のトラブルが解消できたそうです。

火葬炉の特徴は、縦型再燃炉と、バグフィルターで、デレッキは全く使用しません。2回の空気混合で排気温度200度以下冷却を実現し、バグフィルターがコンパクトに感じました。排ガス測定は、1回/年、行っています。また、作業後の汚れを取り除くエアシャワー室が設置されていました。始めてみました。後、気になった点は、修理時期らしいのですが、主燃炉内セラミックの劣化具合と、再燃炉の外壁修理跡です。

前々回に訪れた日は、東日本の震災があった日でした。印象深い斎場です。また、修了者の方の元気な姿も拝見しました。頑張ってください。月日の流れを実感するとともに、同じ職につき、日々研鑽を続け働く同志に敬意を感じます。

斎場長和田様大変ありがとうございました。